



鳴見台小学校区コミュニティ協議会

鳴見台小学校区地域子育て憲章



—— 憲章設定の目的 ——

子どもたちや子育て世代にとって、
望ましい子育て環境をつくることにより
魅力あるまちづくりを進めます。



制定：令和7年4月10日



鳴小校区の 地域子育て宣言

子どもは地域の宝です。
子どもたちには無限の可能性が
あります。その可能性を広げ健
やかな成長のために、子育て
をこの地域の共通課題として
掲げ、望ましい子育て環境を
つくり、子育てをみんなの力
で支えていきます。

- ①子どもが安全安心して過ごせるまち
- ②だれもが自然に挨拶を交わす心が通うまち
- ③人びとの交流があり、親しみのあふれるまち
- ④子育ての悩みも気軽に相談できる仲間がいるまち
- ⑤いざというとき誰かが助けてくれる頼りになるまち
- ⑥子どもたちの心を育てる、ゴミのないきれいなまち
- ⑦地域の子育て課題に挑戦する活気あふれるまち
- ⑧子育て支援の仕組みや施設が整っているまち

子育てしやすい 地域の姿 (目標)

みんなで取り組む 実践事項

- ①挨拶は関係づくりの出発点、自ら先に声をかけよう
- ②子どもたちに笑顔で声かけ、やさしく見守ろう
- ③地域活動に積極的に参加し、みんなの心と手を繋げよう
- ④子育て悩みは抱え込まない、遠慮しないで周りの人に相談しよう
- ⑤子育ては地域の課題、みんなで考え地域で取り組もう
- ⑥自分ができる子育て応援、小さなことでも続けていこう
- ⑦ゴミのないきれいな環境づくりを進めよう
- ⑧子どもたちに頑張るおとなの姿を見せていこう



みんなで取り組む実践事項の説明

01 挨拶は関係づくりの出発点、自ら先に声をかけよう

望ましい子育て環境づくりを進めるうえで大事な点が地域の人間関係です。この関係が良ければ地域の様々な課題は前向きに議論され解決されていくものと思います。本憲章の理念は思いやりや助け合いの心を繋いで、子育てしやすい地域をつくろうということです。挨拶は相手との距離を近づけることができる、誰もができる最も手軽な手段です。みんなが先に声をかけようとするれば挨拶の輪が広がり、地域の人間関係は格段に良くなっていくでしょう。また、みんなの挨拶が地域に定着すれば不審者が侵入しにくくなり安全安心な地域づくりにもつながります。

02 子どもたちに笑顔で声かけ、やさしく見守ろう

「このまちに住んでよかった」、「このまちで子育てができてよかった」とみんなが思うようなまちにしたい。これが私たちの目指す目標です。子どもたちをみれば笑顔で声をかけ、遠くからでもやさしく見守ってくれる人がいる。登下校の時間帯に庭に出て子どもたちの様子を見る、近くを散歩して子どもたちを見守る、たまには注意することもある。そういう一人ひとりの見守り行動が地域に広がり、積み重なっていけば、私たちが目指す地域社会に近づいていくことになります。

03 地域活動に積極的に参加し、みんなの心と手を繋げよう

子育てにかかる課題は、子育て家庭に関わること、行政や学校が対応すべきこと、地域で考えるべきこと等様々です。地域の課題は子育て家庭も含めた地域のみんなで考え、取り組んでいかなければなりません。この時に大事なのが人と人の繋がりです。地域の繋がりがよければ円滑な話し合いや英知が集まり、より良い方向を導き出す力になるでしょう。また、子どもたちと大人の繋がりを強めることも大切なことです。地域活動への参加は、繋がりをつくるよい機会です。時間が取れないなど難しい点もありますが、少し頑張ればそれだけの収穫もあるでしょう。

04 子育ては地域の課題、みんなで考え地域で取り組もう

少子高齢化社会といわれる中で、当地域は子どもの数も子育て家庭も多い若くて活気ある地域といえます。しかし、子育て家庭は、核家族化の進展や共働き家庭の増加等の影響で様々な課題も抱えております。私たちの目標は、子育てをその家庭だけの問題として捉えるのではなく、子育てをしていない家庭も含めた地域の課題として考え、みんなで子育てしやすい地域をつくっていかうことです。そのために、地域の総意として「子育てしやすい地域をつくる」という目標を共有し、その目標を実現するために何ができるのか、子育て家庭と学校と地域が連携して、みんなで考え取り組んでいくことが大切なことです。

05 子育て悩みは抱え込まない、遠慮しないで周りの人に相談しよう

子育ては家庭の問題と考えてしまいがちですが、子育ては社会の問題でもあるのです。行政でも子育てについて様々な施策を講じて子育ての支援を行っています。私たちが、地域子育て憲章を設定し取り組みを始めているのも、行政とは異なる地域ならではの子育て応援をすることで、子育てしやすいまちづくりを進めようと考えているからです。

子育ては生きがいや楽しみをもたらす人生の大事な営みですが、保護者には大きな負担がかかることも事実です。子育ての悩みを自分だけで抱え込んでしまっても個人の力には限界があります。地域には、子育て中の仲間もおり、子育てが終わった心ある先輩も大勢います。遠慮しないで周りの人に相談しましょう。また、周りの人の応援には、余計なお節介とせず、善意の行為として有り難く受け入れましょう。

06 自分ができる子育て応援、小さなことでも続けていこう

当地区には、子どもたちへの声かけや登下校時の交通安全指導、朝の挨拶等、長年にわたって活動を続けていただいている人たちが多くおられます。活動を継続するという事は大変なことですが、その活動は子どもたちや地域の人たちから認められ、感謝と共感を得て、やがて地域の「文化」として定着するのです。このような取り組みが地域での子育て応援の原点になります。私たちができる子育て応援には様々な方法があります。子どもたちの様子を見守る、直接に声かけや交通安全指導をする、学校での図書ボランティア、子育て家庭の相談を受ける、子育ての具体的な支援活動等です。いずれも子育て憲章に賛同してくれる人たちの自主的活動が出発点になります。小さいことでもいい、自分ができる子育て応援始めてみて下さい。そして続けていきましょう。

07 ゴミのない美しい現境づくりを進めよう

子どもは、家庭だけでなく社会環境や自然環境の影響を受けて成長していきます。その環境は人間の行動によって変わります。ゴミが散乱し壊れた自転車が放置されている状況は人間の行動の結果です。人々の意識が高ければ地域の環境はよりよく適切に維持管理されているでしょう。大谷選手がグラウンドに落ちていたゴミを拾って自分のポケットに入れた何気ない行為が称賛されニュースで取り上げられていました。ごみを捨てない、ゴミがあったら拾う、きれいな花を植える等、誰もができる小さな行為が地域の中に広がることで、子どもたちの心を育てる環境づくりに繋がっていきます。地域の人々の意識や行動が子供たちの成長に大きな影響を与えるのです。

08 子どもたちに頑張るおとなの姿を見せていこう

子どもたちの成長に影響を及ぼす環境は、主に家庭と学校と地域ということが出来ます。その中で両親や周りの大人の言動や生き方は良くも悪くも子どもたちに大きな影響を与えます。私たちの取り組みは、子どもたちだけを対象にした活動ではなくて、子育てを通して子どもたちも大人も共に成長することを目指す取り組みともいえます。一生懸命頑張っている大人の姿、汗を流して努力している親の後姿は子どもたちにとって生きた手本になるでしょう。

